学校番号	２１２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	２単位	年	３年
類型等	理型（選択）						
使用教科書	「新編　詳解地理Ｂ　改訂版」（二宮書店）・「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料（帝国書院）・サクシード地理（啓隆社）・地理統計 Plus（帝国書院） 整理と演習（東京法令）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校の地理は、地形・気候・産業や文化などを総合的にとらえ、考えていく力を身につけていきます。
世界の諸地域について単純に暗記するのではなく、地図帳、写真、地形図、図表などを利用しながら、規則性や関連性に着目し、そこにある理由、歴史的背景をふまえて、各地域の共通点や相違点を見いだすようにしましょう。多方面から物事をとらえる力は、生きる力にもつながります。
地理の学習で一番大事なことは、テレビや新聞などで地名が出てくれば地図帳にしるしをつけるなど、地図を見る習慣をつけることです。
共通テストでは暗記力よりも幅広い知識・経験・思考力が問われます。他教科・他科目を含め勉強の幅を狭めず多様な経験を生かしましょう。定期考査では入試問題レベルの問題を多数出題するので、復習をしっかりしてください。２年の学習内容に不安のある人は講習にぜひ参加してください。

２　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	地図と地理的技能	1.　地理情報と地図 2.　地図と地域調査	○	○	○	○	a: 地理情報と地図について，読図や比較，地理情報の地図化などの活動を通して，現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。地図の活用と地域調査について，地形図の読図や資料収集などを意欲的に行い，地域調査に対する関心と課題意識を高めている。 b: 地理情報と地図について考察し，その過程や結果を適切に表現できる。地図の活用と地域調査について，地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:作成方法や世界観が異なる現代世界のさまざまな地図を収集・比較し，有用な情報を適切に選択できる。地形図の読図などを通して，調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。 d: 地理情報と地図について理解し，その知識を身につけている。地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真の利用方法を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度
2	現代世界の系統地理的考察	1.　自然環境 2.　資源と産業 3.　人口，村落・都市 4.　生活文化，民族・宗教	○	○	○	○	a: 世界の自然環境，資源と産業，人口，村落・都市，民族・宗教に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 世界の自然環境，資源と産業，人口，村落・都市，民族・宗教について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 世界の自然環境，資源と産業，人口，村落・都市，民族・宗教に関する諸資料から，有用な情報を適切に選択し，その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d: 世界の自然環境，資源と産業，人口，村落・都市，民族・宗教の特徴を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度

2・3	現代世界の地誌的考察	1. 現代世界の地域区分 2. 現代世界の諸地域 3. 現代世界と日本	○	○	○	○	a: 世界の諸地域について，地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b: 世界の諸地域について，歴史的背景をふまえた地域の変容，人口動態と経済発展などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c: 世界の諸地域の自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，諸国の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d: 世界の諸地域の自然の特徴，日本との関係を含む歴史的背景をふまえた地域の変容，人口動態と経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。